





うん、よかった。
すっごく焦らされたから、
最後はとつても
気持ちよかったよ。

はぁ...

はぁ...

フツッ、
また神父さんの精液、
たくさんいただいちゃった！

ぬゅ

はぁ...
はぁ...

ぐわぐわ

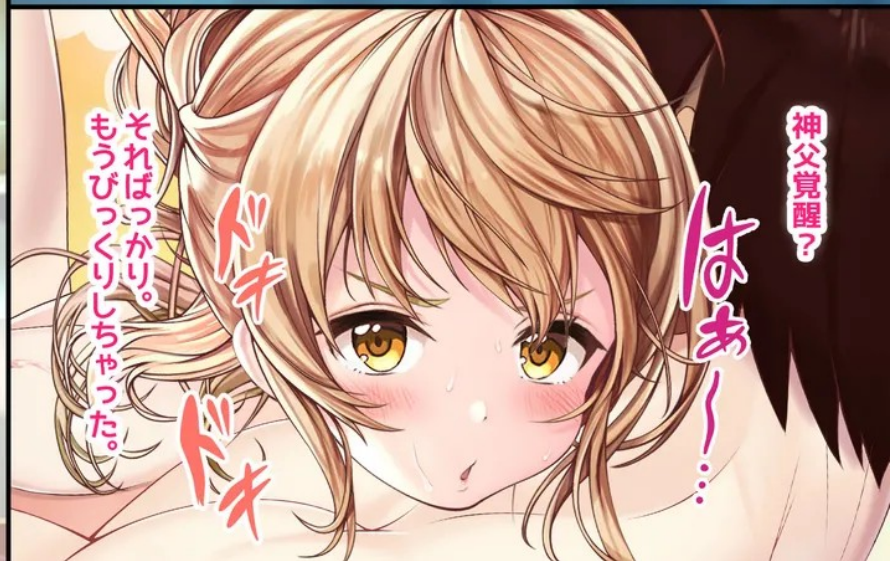
はぁ...

はぁ...

えっ、ううん。
今でチャージ満タン。
しっかり溜まったわ。





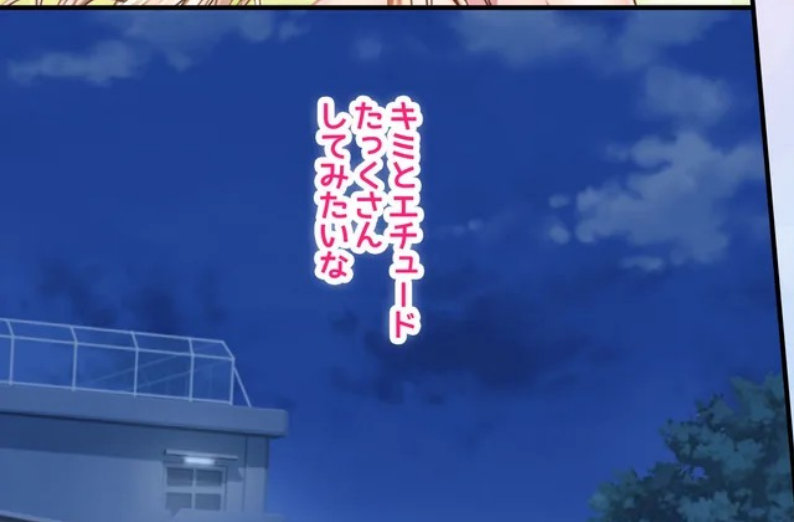




私はまた、

はぁ...♡

はぁ...♡



キミとエチユード
たつくさん
してみたいな



そうよね。
私ももう今日は
たくさん満足しちゃった

だから、また日を改めて……
次は正式な部員として、
エチユードするっていうのはどう？

ドキ

ドキ

ドキ





今までもずっと
私1人で
活動してきたから。
だから、
今日からは私とキミ。
この演劇部は
部員2名で活動します。

ギシッ

ぎゅむっ



他の新入部員が
ゼロなんで、
本当に信じられない……。
えっ、
他の部員？
うん、いないよ。

ガタン



早速来てくれて
ありがとうね！
いやー、ホント、
キミがうちの演劇部に
入ってくれてよかったよ。
グッ

すっ

練習相手ができて
私、とっても
うれしいんだ。

これからよろしくね！

じゃあ早速、
今日も2人っきりで
練習しようか。

今日のエチュードはね、
もう設定を
考えてきたんだよ。

ズバリ、
私がミニスカポリスで
キミがいろんな意味で
危険な運転手、ね？

よーい、スタート！



停まりなさい、
その黄色い軽自動車！

ギシッ

コラー！
すぐに停止しなさい！

ガタン

ふう、やっと停まった！

もう、キミ？
だいぶスピードが
オーバーしてるわよ。

はっ…

急いでるからって、もちろん
スピードを出していい理由には
なりませんからね。

はっ…

ぎゅん

そんなの、
キミ自身だって
わかってるでしょう？

はい！
さあ、免許証を
出してください。

すっ







きやつー!!

ガタン

ちよつ、
誰があんたの
車の中になんか……っ!

あんつ!
ソコはダメ……!!
あつ、ああつ……

んんつ、やつ、
はあ……ああつ!

ああん……ああ、
はあつ、ああ……

はあつ、はあ……。
やだつ、
そんなの見せないで。
汚いっ。

すっ

感じてなんか……





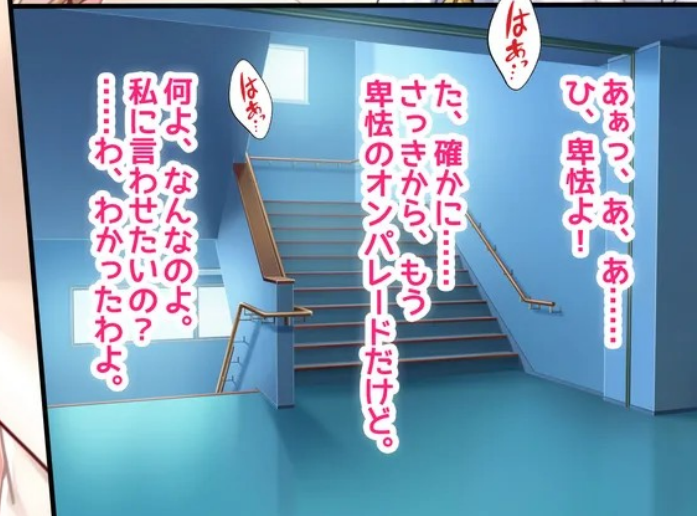
ねえ、お願い、
ちようだい!!
あなたのおちんぽ!

さつきから、カラダが
うすいでしょうがないし、
本当言うともう
我慢の限界まできてるの。



いい、いえ!
はい、はい、わかりましたあ。
失礼します!

あ、無線!
はい、こちら……。
あんっ!!
いえ、なんでもありません……。
あつ、ん。



何よ、なんなのよ。
私に言わせたいの?
……わ、わかったわよ。

た、確かに……。
さつきから、もう
卑怯のオンパレードだけど。

ああつ、あ、あ……
ひ、卑怯よ!

な、何よ、
勝ち誇ったように笑って。

む

どうせ、キミももう
我慢できないんでしょ？

ハハハハ

……その前に舐めろって？
もうっ！
注文が多いんだから！

ムシ

いいわよ、
舐めてあげるわよ。
ほら、出しなさいよ。
その汚いおチンポ！

私が今から舐めて
きれいにしてあげるから。
貸して！

ムッ

……んぐっ！
ぐぐっ……ぶはっ！

ズ

ググ

グググ

ちよっと、違うわよ。
どこに挿れてるのよ！
挿れるのは口じゃなくて、
私のお○んこー！



えっ、当たり前じゃない！

私の一番のポイントは
可愛いってところなんだから、
そこをアピールしなくて
どうするのよ。

さあ、どうするの？

そのキュートで可愛い
ミニスカポリスがもう一回、
キミのオチンポを
なめなめしてあげよっか？

あら、
すいぶん素直になった。
立場逆転かな？

ほら、貸して！

















